

ブラインドボクシング体験



実施
学校名

東久留米市立南町小学校

日時

令和6年11月28日（木）

場所

体育館

プログラム 概要

- ・現役プロボクサーやブラインドボクサーによるスパーリングを見学しました。その後、子供たちは実際にブラインドボクシングを体験しました。
- ・代表児童8名が、体育館に設置された本物のリングで、スパーリングを体験しました。
- ・ブラインドボクシングの体験だけではなく、視覚に障害のある方のご苦労や、盲導犬のことなどを教わりました。

体験風景

1 スパーリング披露



アイマスクをした選手による、スパーリングが披露されました。首に掛けた鈴の音を頼りにパンチを打つことは、日本ランク1位の現役プロボクサーでさえ、苦労している様子でした。

2 講話・質疑応答



視覚に障害のある関章芳選手と工藤聖真選手から、ブラインドボクシングやこれまでの苦労話、盲導犬についての講話がありました。質疑応答では、児童から、様々な質問がありました。

3 ブラインドボクシング体験



まずは、アイマスクなしで、ボクシングの基本的な構え方やパンチの打ち方を講師から教わった後に、ミット打ち等を行いました。その後、アイマスクを着用して再び挑戦しましたが、ミットに正確に当てることに苦戦している様子でした。

4 スパーリング体験



代表児童8名がアイマスクを着用して、トレーナーを相手にスパーリングを体験しました。フットワークを使って動き回るトレーナーを、懸命に追いかけてパンチを繰り出す児童に、会場から大きな声援が送られました。

参加した 児童の声・ 反応

- ・自分でやってみると難しいことが分かりました。これからは、ブラインドボクシングの選手を応援したいと思いました。
- ・練習の時には、失敗しても優しい言葉をかけてくれました。友達の試合では、元気な声で応援を手伝ってくれてありがとうございました。
- ・盲導犬の話や視覚障害の方が歩くときにどのようにしているかの話を聞きました。これからは視覚障害の方がいたら助けたいと思います。